

事例発表2

南筑後地区

長島長寿会の取り組みについて

みやま市老人クラブ連合会瀬高支部

長島長寿会 会長 三栗野 俊春

【瀬高支部南校区の概要】

南校区の老人クラブについて、地区の紹介と活動内容をお話ししたいと思います。

南校区のクラブ数は現在 5 クラブで各会員数は、下小川長寿会 106 名、堀切鶴亀老人クラブ 70 名、開長寿会 86 名、浜田老人クラブ 54 名、長島長寿会 97 名です。

南校区のイベントとして春の運動会・南校区グラウンドゴルフ大会、秋・今年度は R6 年春、2 回目を実施、毎年楽しみに多くの会員の皆さんが参加されます。

【長島地区の概要】

私たちが暮らす長島地区は、みやま市の中央あたりに位置し、南北に(約 2.5 km)と細長い集落です。農業を主とする地区で、おもな作物は米・麦・なす等です。

どこの地域も同じとは思いますが、子供が遊んでいる声も聞こえません。

長島の小学生は2~3 人と聞いています。若い世代も見かけません。

見かけるのは、中年や老人だけです。地区には生活必需品を揃えるための施設、商店が皆無で、瀬高の町(約 4.5km)又は、高田町(約 3.5 km)まで、車での移動が主となり生活用品の買い入れに皆さん大変苦勞しています。

【長島長寿会】

長島長寿会の会員数は 97 名、男性 42 名・女性 55 名・平均年齢 75.6 歳です。

また、会員のうち 53 名、男性 21 名・女性 32 名でいきいきサロンにも取り組んでいます。

サロンは、社協に講師派遣を依頼して、年 12 回毎月第 3 木曜日に活動しています。

1. 主な活動

- ・総会
- ・日帰り旅行
- ・グラウンドゴルフ大会
- ・除草作業
- ・買い物支援

※バスツアーの中で、「今日は〇〇さんの、顔が見えないようですが、具合でも悪いのですかね?」・「〇〇さんは〇病院に行かれているそうですよ。」訪問、声掛け無しで OK 安心。
参加者の声・顔みれば、元気だなー。ばっちり!

※移動販売の車が来るまで、おしゃべりタイム、顔が見えないと「〇〇さん今日は何事かなー」、「お休みだそうです。」

- ・子供見守り隊

2. 高齢者相互支援活動

支援活動委員として3名の方(女性2名・男性1名)が、主に、一人暮らしの方を対象に活動しています。この中から、いくつかの事例を紹介したいと思います。

事例① 見守り活動の対象者 Aさん (女性;86歳一人暮らし)

Aさんは、言葉遣いはもとより足腰も達者で、グラウンドゴルフにも参加され、炊事・洗濯など日常生活は問題なさそうに見えます。

ところが、行事の前日にAさんに連絡していても、当日に出席がないことがありました。

行事の日にちを忘れてあるみたいですので、娘さんが週に1回お見えになったときに、今後について話し合ってくださいとお伝えしています。

事例② 見守り活動の対象者 Bさん (女性 92歳・92歳夫と2人暮らし)

Bさんは、移動する時には手押し車が必要です。

旦那さんは、月曜から金曜までは介護施設で生活されて、土・日は自宅で過ごされています。

息子さんが心配されているのか、「たまに土曜、日曜に帰って来て、小言ばかり言って(老人臭とか)困っている。」と相談を受けました。

担当者は、何度も足を運び、Bさんの不満を聞きながら励ましています。

事例③ 見守り活動対象者 Cさん (男性 83歳一人暮らし)

Cさんのお宅へ行くのは、やはり男性が良いのか?良くわかりませんが、女性の私が顔を出すようにしています。

今回は、グラウンドゴルフのお誘いで話を始めました。

少し物忘れをされるようになっておられるので、注意をしながら話を進めていると、Cさんはメモ帳に参加日と時間を記入されていたので安心しました。

訪問すると何時もテレビの番をしてあるので、今後、時間があれば、世間話をしに時々訪問する予定です。

・訪問・声掛け・ひと月の内に3回から多い時は5回顔を合わせる事ができます。

【まとめ】

上の例からもうかがえますが、ちょっとした手助けをする事でお互いが信頼し合い、良い繋がりを作ることができます。

また、継続して訪問することで、より細かい手助けができるのではないかと考えています。